

“絆”きずな

事業所リレーエッセイ パートII

「地域の活性化と被災地の復興のために」

震災後、約6年5カ月、山田町の駅舎は完成間近です。見る度に大きくなる建物と、広がっていく道路に、復興という言葉の意味を肌で感じています。

3.11、私は千葉県の病院に勤務しており、患者様の介助歩行をしていました。患者様を転倒させないように、私の膝で支えたことを昨日のことに覚えています。岩手県出身の私は、仙台空港へ津波が押し寄せる映像に衝撃を受けました。その後、今となっては不思議なご縁で南相馬市立総合病院に出向し、浜通り訪問リハビリステーションのスタッフとも交流を持つことができました。そして、前職場を退職後に「ゆずる」への就職を決めました。現在、車から見える景色が毎日変化し、その姿に言葉では言い表せないほどの力を感じています。この街の活性化と復興に貢献できるように頑張りたいと思います。

一般財団法人 訪問リハビリテーション振興財団 山本 喜文
宮古・山田訪問リハビリステーションゆずる 理学療法士

訪問リハ・地域リーダーの“絆” ご当地紹介⑩ 大阪府編

大阪府訪問リハビリテーション振興会は、(公社)大阪府理学療法士会、(一社)大阪府作業療法士会、(一社)大阪府言語聴覚士会の協力のもと、代表者が集まり、訪問リハ実務者研修会の開催の他、嚙下や呼吸、認知症の研修会を年に数回開催しています。

その役割として、生活期を支える「訪問リハビリテーション」が、今後もニーズが高まることが予想され、それにこたえるために、在宅のステージにおいて質の高いリハビリテーションを提供できる療法士を育成するための教育研修を中心に活動を行っています。

当初は、理学療法士2名、作業療法士2名、言語聴覚士1名で運営をスタートしましたが、3年前から企画運営に携わってくれる人たちが増えました。大阪府の3土会とも会員数は、非常に多くまた、訪問リハビリテーションに携わる療法士も増えていることから、教育研修活動を通じて、在宅リハビリテーションの発展に貢献していきたいと考えています。

大阪府訪問リハ・地域リーダー 言語聴覚士 藤井 達也
一般社団法人 大阪府言語聴覚士会 会長

南から始まる訪問リハビリテーションの魅力 in 広島県

私は、病院ではリハビリ部長という立場で仕事をしています。そのため、当院のリハビリテーションスタッフの配置を決める立場にあります。配置を決める中で一番気を使うのが、新入職から回復期リハ病棟で働いてきたスタッフを配置異動で訪問リハビリテーションへ送り出す時です。

多職種も同職種も大勢いて、様々な助言をもらいながら行っていた回復期リハ病棟での訓練に比べ、訪問リハビリテーションではより個人の力量や資質を問われます。

訪問リハビリテーションへ異動して間もない頃は、頭を抱えて帰ってくることの多いスタッフも、徐々に顔を輝かせて帰ってくるようになり、回復期リハ病棟で働いているスタッフへ、アドバイスをしている姿をみると頼もしく感じます。

悩み・考え・行動してみることに責任の重さとやりがいこそ訪問リハビリテーションの魅力であり、それがスタッフを成長させてくれると感じています。

広島県訪問リハ・地域リーダー 言語聴覚士 五郎水 敦
医療法人社団明和会 大野浦病院